

# 高校生の1日

高校は、学習の場です。お互いの「学習の場」を保障するために、エチケットや守らなければならない規則があります。この章では、内灘高校の1日を過ごすために必要となることを説明します。

## 登校

mZone 8:30~

SH 8:40~

1限 8:50~

9:40

2限 9:50~

10:40

3限 10:50~

11:40

4限 11:50~

12:40

昼食

12:40~13:25

<5限の予鈴13:20>

5限 13:25~

14:15

6限 14:25~

15:15

清掃・終礼

15:15~

(⇒下校)

部活動

補習

(⇒下校)

(⇒下校)

(1) mZoneについて

(2) SHについて

(3) 授業について

補足として

<昼食時間>, <清掃>, <終礼>について

(4) 部・同好会について

(5) 交通安全について

□通学にあたって

□自家用車での送迎について

□自転車通学

(6) 欠席などについて

□欠席の場合

□遅刻の場合

□早退の場合

□一時外出の場合

(7) 学校生活のマナー

□あいさつ

□節度ある行動

□身だしなみ

□アルバイト

□夜間外出・外泊

□学割

□自動車免許取得

(8) 特別指導

□特別指導の対象となる行為

## アルバイト

平素は、原則禁止します。

やむを得ず行う場合は学校の許可を得ること。

(詳細は「学校生活のルールについて」を参照。)

## (1) mZoneについて

mZoneとは、「Morning Zone」の略称で、授業が始まる前の朝学習です。朝学習をすることで、授業に向けて脳のウォーミングアップになり、より良い一日のスタートを切ることができます。また、限られた時間で課題をしなければならないため、集中力が鍛えられると同時に、授業の理解度の向上にもつながります。毎朝集中して、素晴らしい一日のスタートダッシュを切りましょう。

## (2) SH(ショートタイムホームルーム)について

SH(ショートタイムホームルーム)では、出席確認やその日の行事や時間割変更などの連絡を行います。とても大切な時間なので、遅れないよう余裕をもって登校しましょう。服装はしっかりと正し、担任の先生やクラスメイトと挨拶をして、元気に1日を始めましょう。

## (3) 授業について

学校は「勉強」をするところです。学校生活の大半が6限の授業で占められます。この時間を大切にできなければ、有意義な学校生活を過ごせません。そのために、次のようなことに注意して授業を受けるようにしてください。

### ☆家庭でも勉強をしましょう。

大切な時間を過ごすためには、家で授業の準備をする必要があります。

### ☆授業開始のチャイムが鳴る前に、席について授業の準備をしましょう。

席について教科書・ノートなどを机の上に出しておく。教室を離れて体育や芸術などの授業を受けるときは、チャイムが鳴るまでに授業のある場所に移動して、すぐ授業が開始できるようにしてください。

### ☆授業中は集中をましょう。

先生の話をよく聞いて、黒板に書かれたことをノートに写し、授業の内容を理解できるようにする。当然、居眠りや私語をしてはいけません。居眠りや私語をしたときには、先生から注意を受けることになります。注意を受けたら、素直に直しましょう。

### ☆授業が終わったら。

面白い授業はあつという間に過ぎてしまいます。終わったらほつとする「休み時間」です。

ひょっとすると、授業以上に貴重な時間かもしれません。

## ＜昼食時間＞

12時40分から13時25分まで。5限の予鈴のチャイムが5分前にあります。

弁当を食べる。学校生活で一番の楽しみかもしれません。

弁当を食べ終わった後は自分の時間です。図書室などを利用するのも良いでしょう。

## ＜全員清掃＞

全員清掃をしています。集団の一員としての役割をしっかりと果たしてください。

## ＜終礼＞

1日の出欠確認と、明日以降の連絡をしています。

#### (4) 部・同好会について

高校総合体育大会、総合文化祭、新人体育大会、その他各種大会を目標としながら高校生活をより充実したものにしようと日々の活動をつづけています。入学後、部の紹介がありますので下の一覧表を利用してください。

##### 【令和6年度に活動している部・同好会】

	部・同好会名	活動内容（場所・活動日など）
運動部	自転車競技	内灘総合公園 / 本校体育館
	野 球	本校運動場
	バドミントン	本校体育館
	サッカー	内灘総合公園 / 本校運動場
	ソフトテニス	内灘総合公園 / 本校体育館
文化部	軽音楽	本校教室
	家 庭	本校教室
	美 術	本校教室
	Acpiqs	本校教室
同 好 会	バレー ボール	本校体育館
	卓 球	本校体育館
	華 道	本校教室
	英 語	本校教室

\*上記以外での部活動発足を希望する場合は生徒会顧問への申し出により検討するものとする。

## (5) 交通安全について

### □通学にあたって

- ・通学時の安全確保のため、徒歩通学者も自転車通学者も、図の指示を守り、交通安全・事故防止を心がけること。のと里山海道を渡るとき、歩行者は横断歩道または地下道を利用すること。

### □自家用車での送迎について

- ・通学時に自家用車で送迎してもらう場合、事故防止のため、以下の点に注意すること。

○**校門付近(校内の坂道・公園前等)や地域住民優先道路では駐停車せず、校地内玄関口で駐停車する。**

○交通の妨げとなる場所や長時間の駐停車は避ける。

### □自転車通学

○**令和5年4月から、年齢問わず自転車にのるすべての人にヘルメット着用が努力義務化されます。**

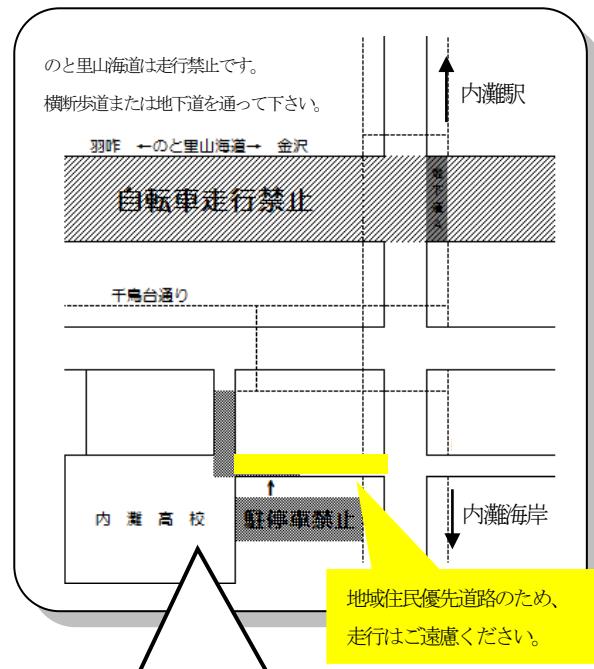
- 自転車通学を希望する生徒は、生徒課で所定の許可を受けること。

また許可を受け自転車通学する際、次のことを厳守すること。

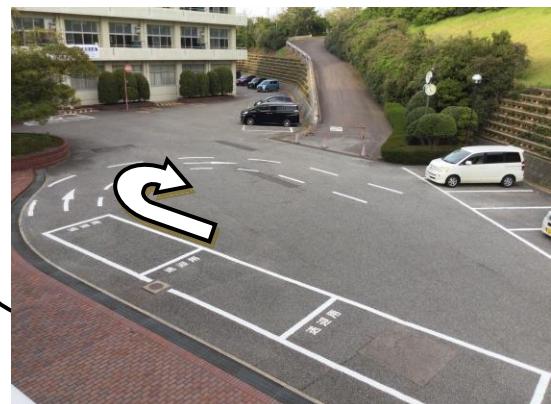
- ・「自転車通学許可願」(1年生は入学時に一括して受け付ける)を生徒課に提出する。
- ・防犯登録をし、自転車損害賠償保険に加入すること。
- ・本校指定のステッカー(1枚100円)を貼り、さらに自転車には住所、氏名を記入しておくこと。
- ・自転車は、必ず学校の駐輪場にとめて、カギをかけること(ダブルロックが望ましい)。
- ・のと里山海道等自動車専用道路や歩行者専用の歩道は走行しないこと。

○平成24年の道路交通法の一部改正に伴い、平成27年6月より危険なルール違反を繰り返すと「自転車運転者講習(受講命令違反は5万円以下の罰金)」を受けることになりました。自転車で通学する際は次のことを厳守すること。

- ・夜間はライトを点灯する。夜間の無灯火運転禁止。
- ・2台以上横に並んで走行する、並進運転禁止。
- ・雨天は雨合羽を着用する。傘差し運転禁止。
- ・携帯電話・スマートフォンを使用しながらの運転禁止。
- ・音楽等を聴き、安全な運転に必要な音や声が聞こえない状態で運転するヘッドホン・イヤホン禁止。
- ・その他、**基本的安全ルール**(車道の左側を走行する・信号無視しない・止まれの標識があるとことでは必ず止まって安全確認する、など)を守る。
- ・自己の健康管理はもとより、ブレーキ、ライト、チェーンなど点検整備を常に心がけ不安全状態をなくし、事故の加害者・被害者とならない。



校地内玄関口にて一時停車し、お帰りの際は白線にあわせて旋回走行してください。



## (6) 欠席などについて

学校の電話番号

076(238)5301

### □欠席の場合

- ・必ず**保護者**が学校へ連絡する。
- ・連絡手段は**Classi**の「**欠席連絡**」機能を原則とする。難しい場合は電話で行う。

7時30分～16時45分に電話連絡する。緊急時は除く。

### □遅刻の場合

- ・**8時30分以降登校するものをすべて遅刻とみなす。**
- ・あらかじめわかっている場合(通院等)は、保護者が前もって学校へ電話連絡をする。
- ・登校後、直ちに生徒課(生徒指導室)で、「遅刻届」に必要事項を記入すること。
- ・遅刻が多い生徒には別途指導する。

### □早退の場合

- ・あらかじめわかっている場合は、保護者が学校へ電話連絡をする。
- ・身体上の理由による場合は保健室、それ以外の場合は担任の許可を得た後、生徒課で「早退届・早退許可証」に必要事項を記入し、早退する。
- ・帰宅後、直ちに学校へその旨を連絡する。
- ・「早退許可証」は保護者の捺印を受け、翌日ホーム担任に提出すること。

# 高校生の授業

## (1) 単位認定制

高校では、中学校と違って「単位認定制」をとっています。例えば、「現代社会」の授業が週2時間あれば、「現代社会」の単位は2単位となります。そして、「現代社会」の成績や授業の出席状況が一定の基準を満たされると認められたとき、「現代社会」の単位を2単位修得したことになります。これが「単位認定制」です。

修得できなかつた科目的単位数の合計が多いと進級・卒業ができませんので、注意してください。

なお、各教科科目の単位数は5章、「高校生の3年間と進路」で説明します。

## (2) LH (ロングタイムホームルーム)

ホームごとで行う特別活動の時間です。ホーム独自の行事や進路課などに協力してもらって進路説明会などを行っています。生徒会活動の一端を担う活動として、ホーム役員を選んだり学校祭でのホーム行事の企画案を決めたりします。最近、個人が優先されることが多い中で「集団」や「団体」における個人の役割を考えたり、実践できる時間がこのLHです。普通の教科では味わえない体験ができるかもしれません。

## (3) 総合的な探究の時間

「総合的な探究の時間」で次の表にある活動をする計画です。

学年	第1学年	第2学年	第3学年
テーマ	Self Discovery (自己発見)	Life Contemplation (人生思索)	Career Decision (進路決定)
ねらい (目標)	自己のパラダイム（枠組み）を認識することによって、新しい自己の発見を目指す。	自己の課題を踏まえた上で、多くの人生パターンを知ることによって、自己の将来について思索する。	将来有為な社会人となるために、確固たる自己を確立する。
内 容	<ul style="list-style-type: none"><li>・探究学習入門</li><li>・各種講演会</li><li>・内高生のハローワーク</li><li>・職業調べ</li><li>・ポスターセッション</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・探究学習実践</li><li>・体験講座</li><li>・職業人の履歴書</li><li>・インタビュー取材</li><li>・スライド発表</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・模擬面接</li><li>・生涯学習</li><li>・社会人への準備</li><li>・自由制作</li></ul>

## 高校生の1年間

下の表は本校の1年間の主な行事です。執行部を中心として、クラス委員や部活動に生徒一人ひとりが頑張ってくれると学校は元気になります。下線部分は生徒会が主体となって行われる行事で、その他に壮行式や表彰伝達式も行います。

月	行 事	月	行 事
4	入学式 オリエンテーション 基礎力診断テスト <u>前期ホーム役員選出</u> <u>部活動紹介・部活動登録</u> 身体計測 海岸清掃	10	1日：創立記念日 <u>後期ホーム役員選出</u> <u>後期生徒会役員選挙</u>
5	遠足 夏服引渡し <b>1学期中間考查</b> <u>総体・総文壮行式</u>	11	学校公開 内高祭 新人大会（後期） <b>2学期期末考查</b>
6	総体・総文 <u>北信越大会壮行式</u> <u>北信越大会</u> 社会人講話 <b>1学期期末考查</b>	12	修学旅行（2年生） 球技大会 保護者懇談会 冬休み（24日～）
7	<b>1学期期末考查</b> 夏休み（21日～） 夏季補習 保護者懇談会 インターンシップ[就業体験] 2年生	1	冬休み（～6日） 基礎力診断テスト
8	夏休み（～31日） 全国総体（インターハイ）	2	<b>学年末考查</b> 卒業式予行
9	基礎力診断テスト 新人大会（前期） <b>2学期中間考查</b>	3	卒業式 <u>生徒会誌「海生」発行</u> <u>次年度前期生徒会役員選挙</u> 終業式 春休み（25日～4月7日） 全国選抜大会

## 生徒会活動

- 4月**に**ホーム役員**を各ホームで選出します。生徒会執行部とホーム役員とのチームワークを基礎に、前期生徒会活動がスタートします。
- オリエンテーションでの部活動紹介では、各部の代表がプレゼンテーションを行い、新入生に運動部・文化部・同好会に加入するよう働きかけています。
- 自分の居場所作り、仲間を広げる、新しいチャレンジ。部活動をやるメリットはたくさんあります。どんな活動も仲間とやることで**モチベーション**が上がりります。そして部活動が盛んになることは、学校が元気になる第一歩です。
- 6月初旬**に行われる**県高等学校総合体育大会・総合文化祭**に学校代表として部・同好会が参加します。
- 大会前の出場選手の**壮行式**と成績を披露する**表彰伝達式**は生徒会が運営して行います。
- 9月**、**屋外競技の新人体育大会**があります。2年生が主体となる公式戦です。
- 10月**から後期となります。そのため、後期の生徒会執行部役員とホーム役員を選出します。
- 「**内高祭**」の準備が始まります。前期生徒会役員が中心となり取り組みます。
- 11月初旬**、「**内高祭**」は生徒会役員が中心となって、学校全体で準備してきたイベントです。文化部のステージ発表やクラス企画の模擬店など学年を超えたつながりがもて、終わった後の充実感や達成感は学校生活の楽しい思い出となっています。屋内競技の**新人体育大会**があります。
- 12月**、**生徒会誌「海生」**の編集が始まります。
- 3月**、卒業式にあわせて生徒会誌「海生」を発行します。卒業する3年生にいい思い出となるよう編集しています。
- また、次年度の**生徒会役員選挙**は選挙管理委員が進行します。

上記以外にも、次のような活動をしています。

- ◆地域貢献のための活動の一環で内灘サンセットパークに草刈りボランティアを行っています。
- ◆内灘町主催の行事にボランティアスタッフとして参加し、地域の人達と交流を続けています。
- ◆学校の活性化のために生徒会でお昼の放送や挨拶運動に取り組んでいます。

# 高校生の3年間と進路

## (1) 教育課程表と選択科目について

高等学校の学習する教科科目の単位数などは「教育課程表」で決められています。ここでは類型別の教育課程を説明します。

なお、選択する類型で学習する科目が違つてきますので、7月には進級したらどの類型に進んで、どの選択科目を学びたいかを予備調査します。下の表を、参考にして考えてください。

令和4年度以降の入学生に適用する教育課程表												石川県立内灘高等学校					
教科		科目		標準単位数	学年および類型						単位数の合計			教科	備考		
					1年		2年		3年		科目		合計				
					普通		普通		普通		普通		合計				
各学科に共通する教科 (共通教科)	国語	現代の国語	2	2							2	2	2	2			
	国語	言語文化	2	2							2	2	2	2	12		
	国語	論理国語	4		2	2	2	2	2	2	4	4	4	4	~		
	国語	文学国語	4		2	2	2	2	2	2	4	4	0・4	0・4	16		
	国語	国語表現	4		※2				※2		0・4		0・4				
	地理歴史	古典探求	4			2	2	2		2	2	4	4	0・4			
	地理歴史	地理総合	2			2	2	2			2	2	2	2			
	地理歴史	地理探求	3								0・4	0・4	0・4	0・4	4		
	地理歴史	歴史総合	2			2	2	2			2	2	2	2	~		
	地理歴史	日本史探求	3								0・4	0・4	0・4	0・4	8		
各学科に共通する教科 (共通教科)	公民	世界史探求	3								0・4	0・4	0・4	0・4			
	公民	公民政治・経済	2		2						2	2	2	2	4		
	数学	数学I	3	3							3	3	3	3			
	数学	数学II	4			4	4	4			4	4	4	4	9		
	数学	数学III	3								☆4		0・4	0・4			
	数学	数学A	2		2						2	2	2	2	~		
	数学	数学B	2								2	2	2	0・2	17		
	数学	数学C	2								◆2		0・2	0・2			
	数学	○数学研究α	2								2		0・2	0・2			
	数学	○数学研究β	4								☆4		0・4	0・4			
各学科に共通する教科 (共通教科)	理科	科学と人間生活	2		2						2	2	2	2			
	理科	物理基礎	2									0・2	0・2				
	理科	物理	4									0・4	0・4				
	理科	化学基礎	2				2					0・2	2	0・2	4		
	理科	化学	4								3	5	0・5	~			
	理科	生物基礎	2			2					2	2	0・2	0・2	15		
	理科	生物	4								4	0・4	0・4				
	理科	地学基礎	2				2					0・2		0・2			
	理科	地学	7~8	3	3	3	3	2	2	2	8	8	8	8	10		
	理科	体育	2	1	1	1	1	1			2	2	2	2			
各学科に共通する教科 (共通教科)	芸術	音楽I	2		2						0・2	0・2	0・2	0・2			
	芸術	音楽II	2								0・2		0・2				
	芸術	美術I	2		2						0・2	0・2	0・2	0・2	2		
	芸術	美術II	2								0・2		0・2	~			
	芸術	書道I	2		2						0・2	0・2	0・2	0・2	4		
	芸術	書道II	2								0・2		0・2				
	外國語	英語コミュニケーションI	3	3							3	3	3	3			
	外國語	英語コミュニケーションII	4			4	4	4			4	4	4	4	12		
	外國語	英語コミュニケーションIII	4								5	5	5	5	~		
	外國語	論理・表現I	2					2			2	2	2	0・2	17		
各学科に共通する教科 (共通教科)	家庭	論理・表現II	2								3	3	3	0・3			
	家庭	家庭基礎	2		2						2	2	2	2			
	家庭	情報I	2		2						2	2	2	2			
	家庭	○情報I活用	2								◆2	2	◆2	0・2	2~4		
	家庭	○内灘ハイ・シックI	2		2						2		2				
	家庭	○内灘ハイ・シックII	2								2		0・2	2~4			
	家庭	共通科目単位数計		28	24~26	28	28	19~23	28	28				71~84			
	商業	ビジネス基礎	2~4		2						2		0・2				
	商業	ビジネス・コミュニケーション	2~4								★3		0・3		0~9		
	商業	簿記	2~6		※2						※2		0・4				
各学科に共通する教科 (共通教科)	家庭	保育基礎	2~6								◆2		0・2				
	家庭	生活と福祉	2~4								△2		0・2		0~7		
	家庭	フードデザイン	2~6								★3		0・3				
	家庭	体育	スポートII	2~10							△2		0・2		0~2		
	家庭	専門科目単位数計		0	2~4	0	0	5~9	0	0				0~13			
	教科	教科・科目単位数計		28		28		28						84			
	教科	総合的な探究の時間	3~6	1		1		1						3			
	教科	ホームルーム活動	1			1		1						3			
	教科	週当たりの単位数合計		30		30		30						90			

(注1) 2、3年次において、※、★、☆、◆、△印がある各科目からそれぞれ1科目を選択履修する。

(注2) 3年次芸術のIIを付した科目については、1年次に芸術のIを付した科目を履修した者のみ選択可能。

(注3) 一般コースにおける「国語表現」及び「簿記」は2年次、3年次の継続履修とする。

(注4) 「数学研究α」数学IAの内容、「数学研究β」数学IAⅡBの内容

## (2) 進級と卒業について

11ページで説明したように、各学年で決められた単位を修得しなければ、進級できず、卒業もできません。

学年が進むことを「進級する」といいます、学年末の3月に、一人ひとりの生徒について、「進級」を決める会議がもたれます。この会議で、進級が認められた者が、2年生へ、3年生へ進むことができるのです。

そして、3年生が高校を卒業するときにも、進級の場合と同様に、一人ひとりについて、「卒業」を決める会議がもたれ、卒業が認められた者が、晴れて「卒業式」に出席できるのです。

このように、「進級」や「卒業」という言葉には、中学校まででは考えたことがない大きな意味があります。

そこで、新入生のみなさんに心がけてほしいことは、大きな目標(自分の生き方)と中くらいの目標(高校を卒業したらどうする)を具体的にイメージすることです。そして、もっと大切なことは、

**学期ごとに小さな目標を立て、その目標の実現に向けて、行動することです。**

きっと、新入生のみなさんは、卒業式には大きく成長していることでしょう。

## (3) 卒業後の進路について

高校卒業後の進路は、進学する人、就職して社会人になる人とさまざまです。ここで大切なのは、

**「適性に合った質の高い進路実現」(マッチングを考えた進路選択)**

ということです。そのためには、1年生の時から興味・関心を持って情報を集めて下さい。

### □ 進学について

#### (ア) 上級学校の種類

将来、希望する職業によっては、上級学校への進学が必要なものがあります。進学先を選ぶ時には、どのタイプの学校や学部・学科で希望する内容を学べるのか、あるいは希望する職業に就けるのか、よく調べてください。

(表1参照)

(表1) 学校の種類

	大学	短期大学	専門学校
修学年数	4年制 医・歯・薬系や6年制	2年制 看護・医療系は3年生	1年から4年制と、学校分野 によって様々
卒業後に得る称号	学士	短期大学士	専門士
内容	興味・関心のある分野を中心 に学問全般を学ぶ。実務と 言うよりも研究色が濃いが、 応用幅も広い。	就職に役立つ知識・技能の習得 を目的に、知識と実践の両面を 満たすように学んでいく。	希望する専門的な職業に就 くために、高度な知識や技術 を学んでいく。

1年  
新入生

↓↓進級↓↓

2年  
修学旅行等

↓↓進級↓↓

3年  
進路決定！

↓↓進級↓↓



## (イ) 入学試験の方法

### 学校推薦型選抜

- ・学校の推薦基準を満たしているか(学校の成績・生活習慣(欠席・遅刻など)・課外活動(生徒会, 部活動, 資格など))を審議して推薦されれば受験ができます。1年生の時からしっかりと学校生活を送ることが何よりも大事です。
- ・試験の内容は、上記の他に、面接、小論文、基礎学力試験などがあります。

### 一般選抜

- ・試験内容は、学力試験が中心です。受験科目は学校や学部によって異なり、面接、小論文を課すところもあります。国公立大学は、大学独自の入試の他に、大学入学共通テストも受けますが、これは学校の授業だけでは対応が難しいので、1年生の時から早めの受験準備が必要です。また進路の先生に相談して下さい。

### その他

- ・他にも総合型選抜や自己推薦入試などがあります。面談やレポート提出を経て、主に就学意欲や目的意識の高さを審査して合否が決まる入試方式です。

## (ウ) 学費について

学費は、概ね以下(表2)の金額が必要です。高額のため、保護者との早めの相談と計画が必要です。なお、入学手続き時(学校推薦型、総合型の合格者なら10月頃)に「入学金+1年次の前期授業料+諸経費」を支払うのが一般的です。

(表2) 初年度納入金\* 平均

(令和4年度)

校種	分野	初年度納入金(平均)
大学	国公立大学	82万円
	私立大学(文系学科)	119万円
	私立大学(理系学科・ただし医歯除く)	157万円
短大	私立短期大学	113万円
専門学校	各分野	98万円

\* 初年度納入金 = 入学金+1年間の授業料+施設設備・教材費など

2年目以降は、上記より入学金を引いた金額になります。

## (エ) 奨学金について

「日本学生支援機構(旧 日本育英会)」の奨学金や、学資ローンを利用し進学する人が増えています。また、学校独自の奨学金制度や、授業料減免制度を用意している学校もあります。入学手続き時(学校推薦型、総合型の合格者なら10月頃)に「入学金+1年次の前期授業料+諸経費」を支払うのが一般的ですが、この時には奨学金は使えないもので、充分に注意をしてください。(手続き時のお金は別に用意する必要があります)

## (オ) 高等教育の修学支援新制度について(詳細は文部科学省のホームページ等で確認してください。)

### 1 制度の目的

真に支援が必要な低所得者世帯の者に対し、社会で自立し、及び活躍することができる豊かな人間性を備えた創造的な人材を育成するために必要な質の高い教育を実施する大学等における修学の支援を行い、その修学に係る経済的負担を軽減することにより、子どもを安心して生み、育てることができる環境の整備を図り、もって我が国における急速な少子化の進展への対処に寄与することを目的に実施するものです。(大学等における修学の支援に関する法律第1条より)

2 制度の開始時期 令和 2 年 4 月スタート

3 支援の概要 授業料や入学金の減免と給付型奨学金(原則返還不要)

4 支援対象となる学生

住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生(既に大学等に在学する学生も対象)

5 授業料や入学金減免額

支援の対象者	年収の目安(状況によって変わります)	支援額
住民税非課税世帯の学生	～約 270 万円	満額
住民税非課税世帯に準ずる世帯の学生	～約 300 万円	満額の 2/3
	～約 380 万円	満額の 1/3

〈昼間制の場合、住民税非課税世帯の学生の場合〉

	国公立		私立	
	入学金	授業料	入学金	授業料
大学	約 28 万円	約 54 万円	約 26 万円	約 70 万円
短大	約 17 万円	約 39 万円	約 25 万円	約 62 万円
専門学校	約 7 万円	約 17 万円	約 16 万円	約 59 万円

6 給付型奨学金の給付額

〈昼間制・夜間制の月額、住民税非課税世帯の学生の場合〉

	国公立		私立	
	自宅生	自宅外	自宅生	自宅外
大学・短大・専門学校	29, 200 円 (33, 000 円)	66, 700 円	38, 300 円 (42, 500 円)	75, 800 円

\*( )は生活保護世帯で自宅から通学する人及び児童養護施設等から通学する人

7 注意事項

- 申請は高校 3 年次に行つが、大学等進学後すぐでも可能。
- 県内の大学・短大は全て新制度の対象校で、専門学校の対象校は約78%(詳細は HP で確認)。
- 進学後の成績が不振の場合、授業の出席状況が悪い場合は支援打ち切り、奨学金返還要求の可能性。

□ 就職について

(ア)採用試験の方法について

民間企業

「学校斡旋」……職安を通した求人は、すべて学校で斡旋する事になっています。本校指定の求人と、高卒用に一般公開されている求人に対して、校長の推薦をもって就職していきます。採用試験では面接、筆記試験、調査書、履歴書などから合否が判断されます。

「縁故」……主に本人や保護者の知り合いの紹介によって就職する。(校長推薦は不要)

公務員……各自治体が実施する採用試験を受けます。

#### (イ)企業が求める人物像

企業は、会社にとって有益になる人物かどうかを見極めて採用します。企業が求める人物像はおよそ次の通りです。高校生活を通じて、少しでも近づけるよう努めて下さい。

人物像	判断材料
① 熱意・意欲のある人	その企業でなにをしたいのか言えるか。
② コミュニケーション能力・協調性 のある人	大きな声で挨拶できるか。 グループで協力して行動できているか。
③ 誠実で明るく素直な人	自分の意見を率直にはきはきと言えるか。 話をよく聞き行動できるか。
④ 心身ともに健全な人	欠席、遅刻が多くないか。

3年間皆勤、3年間部活動をやり遂げた人は有利になります。

#### (ウ)その他

近年、入社までに普通自動車の免許取得を求める企業が増えてきています。取得できない場合は、入社延期（または内定取消）になるケースもあります。普通自動車免許の取得については、就職内定者は3年次2学期中間考查最終日以降、進学内定者は3年次2学期期末考查最終日以降に届け出をして教習所へ通うことを認めています。免許取得には最低約30万円かかります。就職を考えている人は、免許取得費用の準備をしておいて下さい。

#### □ 進路目標を達成するために

「高校に入学したばかりで、卒業後のことなど考えられない。」と言う人もいるかも知れませんが、1年生のうちから将来の事を考えて準備しておかないと、希望の進路に進むことは難しくなります。以下の事に気をつけて、充実した高校生活を送ってください。

☆基本的な生活習慣を身につける。

- ①. 欠席、遅刻、早退をしない。<健康管理ができるようになる。>
- ②. 部活動、生徒会活動、ホーム活動に積極的に参加する。<できる事を増やす。>
- ③. 挨拶、服装、言葉遣いに気を配り、けじめをつける。<基本的なマナー>

☆学力の向上を目指す。

- ①. 毎日の授業を大切にする。<聞く力、課題を実行する力をつける。>
- ②. 定期考查、学力テストに向け、計画的に勉強する。<学習習慣をつける。>
- ③. 資格・検定試験に挑戦する。<社会に出て必要な学力をつける。>

## 適性に合った質の高い進路実現 -マッチングに合った進路選択を-

\*詳しくは、4月発行の「進路の手引き」をご覧ください。

# 図書室

## 本を読むということ

勉強すること、部活動に励むこと、気のほかない友人と放課後を自由に過ごすこと…どれも高校生活を送るうえで、とても大切な時間です。

その中にぜひ「読書」も加えてほしいと思います。図書室を訪れて、どれでも一冊、手にとってみてください。本に触れることによって、過去の人達が考えた事、現在の情報、未来を予想するなど、質の高い楽しみ方を知ってほしいと願っています。

## 図書室を利用しよう

本校の図書室は、みんなの利用したいいろいろな使い方ができます。たとえば、現在図書室にない本でも取り寄せて読むことができます。読みたい本のリクエストも受け付けています。雑誌は読むだけでなく借りることもできます(最新号を除く)。

①利 用 時 間	午前8時15分から午後4時40分まで
②貸出・返却手続き	図書を利用するときは、借りたい本をカウンターまで持ってくること。 図書を返すときは、カウンターまたは返却箱に返すこと。
③冊 数・期 間	一人4冊1週間まで。返却期限は必ず守ること。 1週間以上、借りたい場合は延長手続きをすること。 返却が遅れたり延長手続きをしないで1週間以上借りた場合は、貸出を停止することがある。図書を紛失した場合は弁償してもらうことがある。
④室内のルール	<ul style="list-style-type: none"><li>・飲食物の持ち込み禁止。</li><li>・私語や雑談をしないこと。</li><li>・手にとった図書は、もとの場所に必ず戻すこと。</li><li>・室内の資料を手続きしないで室外へ持ち出さないこと。</li><li>・借りた本はほかの人に貸さないこと。</li><li>・その他、迷惑行為をしないこと。</li></ul>

# 諸願届の様式

(1) 自転車通学許可願

## 自 転 車 通 学 許 可 願

令和 年 月 日

石川県立内灘高等学校長 様

\_\_\_\_\_ ホーム\_\_\_\_\_番 氏名\_\_\_\_\_

私は以下の注意事項を守って自転車通学をしたく、許可下さるようお願いします。

### 注意事項

- ①二人乗り・信号無視・無灯火等の運転・スマートフォン・携帯電話を使用しながら・イヤホン等を使用して音楽等をききながらの運転など、危険な運転は絶対にしない。
- ②雨天時には必ず雨具（カッパ）を着用すること。傘差し運転は絶対にしない。
- ③駐輪するときは必ず鍵をかける。（二重ロックが好ましい）
- ④左側通行等の交通規則・マナーを守り、安全運転を心がける。

住 所	〒	
自転車の仕様	車 体 番 号	
	防犯登録番号	
	色	
	形 式 (○をつける)	( <input type="checkbox"/> )シティサイクル (一般的車種) ( <input type="checkbox"/> )マウンテンバイク ( <input type="checkbox"/> )その他[ ]
	その他の特徴 (○で囲む)	かごつき 荷台つき 変速機つき その他何か特徴があれば以下に書くこと

学校登録ステッカ一番号



## (2) 遅刻届

遅刻届			
内灘高校 校是			
H	番	氏名	
現在の日時 令和 年 月 日( ) 時 分			
遅刻連絡(電話・Classi) した・していない どちらかの遅刻連絡は原則にしきょう			
【遅刻理由】 (もっとよくあてはまるもの1個に○)			
<input type="checkbox"/> 寝坊 <input type="checkbox"/> 時間管理の甘さ <input type="checkbox"/> 体調不良(※※) <input type="checkbox"/> 通院 <input type="checkbox"/> 通学中のトラブル(※※) <input type="checkbox"/> 洪滞(自家用車) <input type="checkbox"/> 洪滞・トラブル(公共交通) <input type="checkbox"/> 家庭の事情 <input type="checkbox"/> モチベーションの低下 <input type="checkbox"/> その他(※)			
) 遅刻回数3回ごとに、保護者連絡のうえ、改善を求めます。 ) 体調不良などによる遅刻の場合も、ご家庭と連携して医療機関への受診など、状況改善に向けての取り組みをお願いします。			
【振り返り】 ①就寝時間 [ ] : [ ] ②起床時間 [ ] : [ ] ③朝食 食べた・食べていない			
遅刻届 (生徒課を通過した証明なので、授業担当or担任に渡してください)			
H	番	氏名	生徒指導課印
現在の日時 令和 年 月 日( ) 時 分			

## (3) 早退届

早退届 (担任保管用)			
H	番	氏名	
令和 年 月 日( ) 時 分 早退			
【早退理由】			
①この用紙を担任まで持って行くこと。 ②下記の早退許可書をもらってから早退すること。 生徒課印			
----- <切り取り線> -----			
早 退 許 可 書			
H	番	氏名	
令和 年 月 日( ) 時 分 早退			
【早退理由】			
①この用紙を持参して帰宅すること。 ②帰宅途中に問題が生じた場合は、必ず学校(生徒課)へ連絡すること。 [tel: 076-238-5301] ③この用紙の保護者欄に印を押してもらい、翌日ホームページ担任に提出すること。 担任印 保護者印			

## (4) アルバイト届

アルバイト届			
校長	教頭	生徒課	担任
下のとおりアルバイトをさせたいと思います。			
つきましては、左に記載した規則を守り、生徒としての本分を逸脱しないよう十分指導監督いたします。			
令和 年 月 日			
生徒氏名 H 番			
保護者氏名 印			
住所			
アルバイト先 名称 所在地 電話番号			
職種 業務内容 ※ なるべく具体的に記入してください			
契約内容 就業日 (毎日 / 週 日曜) 就業時間 (午前/午後) 時 分 ~ (午前/午後) 時 分 就業時間 (休日) (午前/午後) 時 分 ~ (午前/午後) 時 分 賃金 時給 円			
上の内容でアルバイトとして雇用します。			
つきましては、別紙にある学校の方針に協力し、規則に反した場合はアルバイトを中断させます。			
令和 年 月 日			
雇用者氏名 印			

## (5) 旅行願

校長	教頭	生徒課	HRA
事務長	係	発行年月日	
		令和 年 月 日	発行番号第 号
旅 行 願			
学割証交付願			
石川県立内灘高等学校長 殿			
申請日: 令和 年 月 日			
申 クラス・番号 H 番 請 生徒氏名 ( 年 ) 者 保護者氏名 ㊞			
旅行の目的			
【種別】 口帰省 口正課教育 口正課外巡回 口就職・受験 口見学 口傷病治療 口保護者旅行随伴 (記入用) にチェックを入れる			
期間 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 ( 日間 )			
行先 施設名等 (できるだけ詳しく) 所在地等 都道府県 市区町村 連絡先名 (記入用) 所在地等 都道府県 市区町村 連絡先住所			
宿泊場所 (記入用) 連絡先住所 都道府県 市区町村 JR利用区間 駅 ~ 駅 ( 経由 ) 口往復 口片道 口周遊			
学割必要枚数 (記入用) 2枚以上必要な理由 様子の他特記事項を記入			
氏名 統柄 氏名 統柄 同行者			
注1: 【種別】に記載の旅行において、学割を使用することが出来ます。 注2: 学割は片道の路程が101km以上のJR路線でのみ使用出来ます。 (普通運賃が2割引となります。特急料金・指定席料金は割引なりません。) 注3: 保護者の了解の無い旅行については許可しません。			